

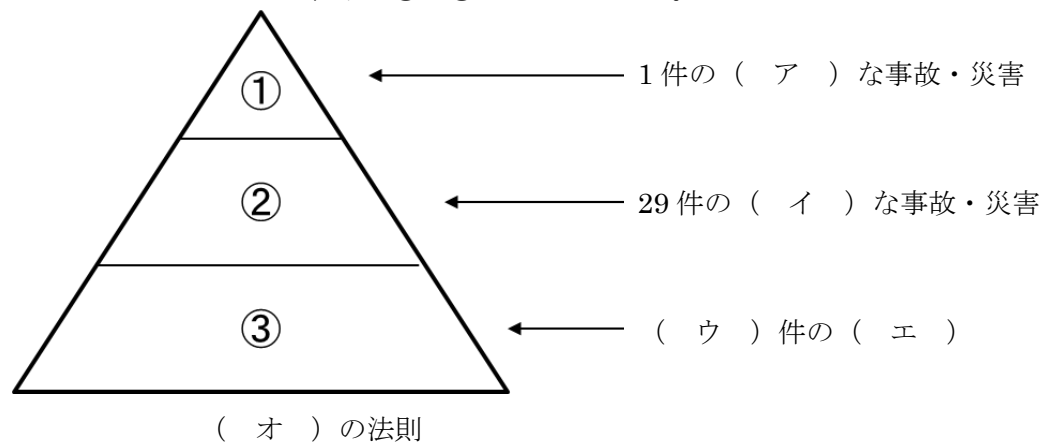
●年度 第1学年 1学期末テスト 技術・家庭科（技術分野）

1年（ ）組（ ）番 名前（ ）

1 安全について次の問いに答えなさい。

- (1) 次のア～オの文章で適切なものには①、間違っているものには②で答えなさい。
- (ア) 実習中はあまり作業時間がないので、移動は小走り、作業はテキパキと行う。
 - (イ) 技術や家庭科、美術などの実習では、落ち着いて作業することが大切である。
 - (ウ) 作業するときに、まわりにもものが散らばっていると失敗やけがにつながってしまうので、きれいに整頓してから作業する。
 - (エ) 工具で遊んでいて、先生から注意を受けたが、人にけがをさせる心配はないので続けた。
 - (オ) 休み時間に木工室にある工具に興味を持ったので、許可を取らず触ってみた。（先生は木工室にいる状況）

- (2) 次の図は工場や工事などの現場でも用いられている安全に関する法則である。図中のア～オにあてはまることばを、下の①～⑧より選びなさい。

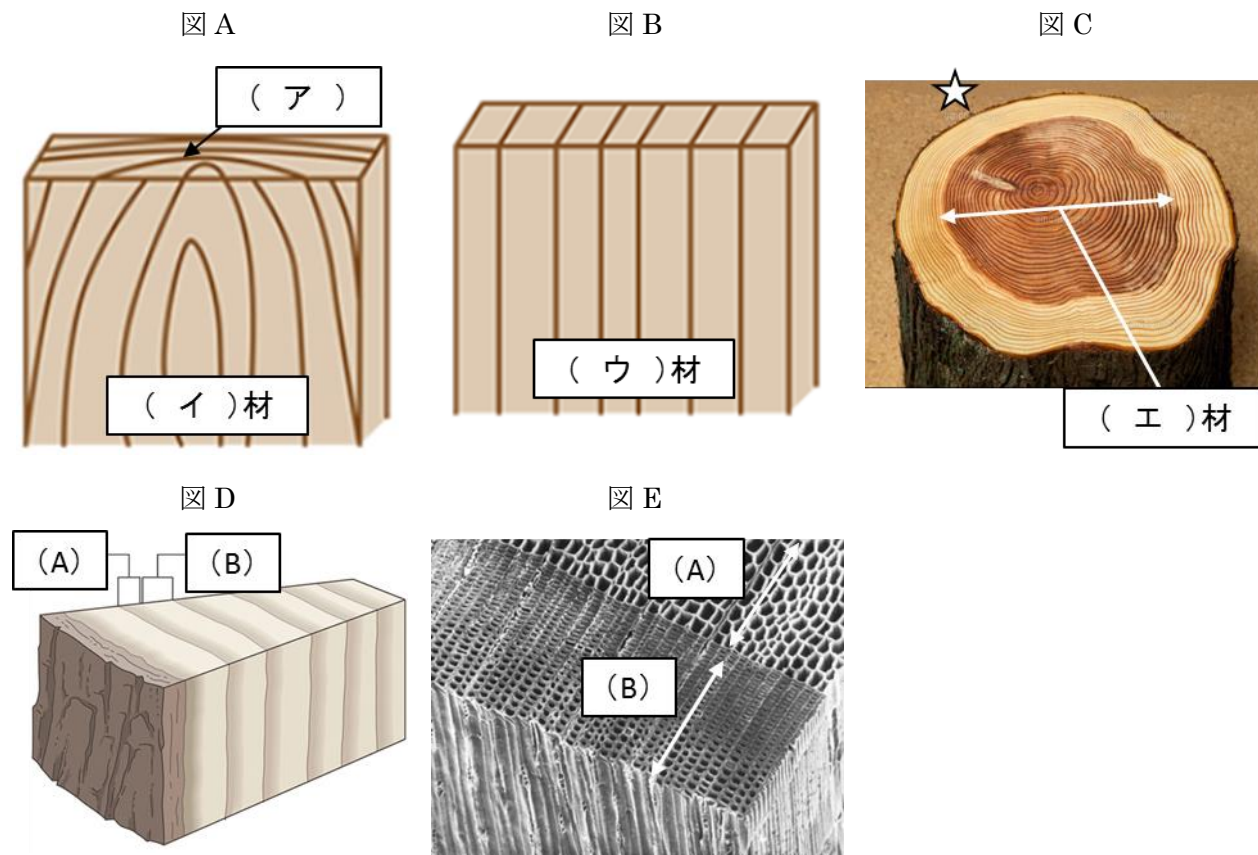


- | | | | |
|---------|-----------|------------|--------|
| ① 重大 | ② 300 | ③ リンガー・ハット | ④ 軽微 |
| ⑤ ハイリッヒ | ⑥ ヒヤリ・ハット | ⑦ 中度 | ⑧ 3000 |

- (3) 次の事例の文章は (2) の図中の①,②,③のうち、あてはまるものとして適切なものを1つ選びなさい。

おきぺんくんは切断の実習中、両刃のこぎりを使用していた。材料を切り終わってのこぎりを机の上に置こうとした。しかし、机のはしに置いてしまったため、のこぎりがバランスを崩して落ちそうになった。「あ、やばい！足に刺さりそうじゃわ！」とヒヤリとしたので、足をすぐさまよけようとしたが、のこぎりの刃が足に刺さってしまった。幸い、ほんの少量の血が出ただけで大事には至らなかったが、今後の教訓となった。

2 次の図 A~E は木材に関する図である。木材の特徴について次の問いに答えなさい。



- (1) 図 A~C 中のア～エにあてはまることばを、下の①～⑧より選びなさい。

- | | | | |
|-------|------|------|-------|
| ① 辺 | ② 心 | ③ 板目 | ④ 元 |
| ⑤ まさ目 | ⑥ こぼ | ⑦ 年輪 | ⑧ こぐち |

- (2) 図 C 中の年輪の中心が「☆」側に寄っている。その理由を説明している文章として適切なものを下の①～④より選びなさい。

- ① 木は太陽の光が当たるほうに中心が寄るため、一番光が当たる「☆」側が南側である。
- ② 木は太陽の光が当たらないほうに中心が寄るため、一番光が当たらない「☆」側が北側である。
- ③ 木は太陽の光が当たるほうがよく成長するため、年輪の成長の幅が小さい「☆」側が北側である。
- ④ 木は太陽の光が当たるほうがよく成長するため、木の繊維の密度が大きい「☆」側が南側である。

(3) 次の①～④の文章の中から図 D について説明しているものとして適切なものを下の①～④より選びなさい。

- ① 年輪とは、春から夏にかけて成長する早材 (A) と、夏から秋にかけて成長する晩材 (B) の 1 組の組み合わせのことを指す。
- ② 年輪とは、春から夏にかけて成長する早材 (B) と、夏から秋にかけて成長する晩材 (A) の 1 組の組み合わせのことを指す。
- ③ 年輪とは、木材の断面の色の濃い部分 (A) を指し、この年輪の数を数えるとその木の樹齢が判別できる。
- ④ 年輪とは、木材の断面の色の濃い部分 (B) を指し、この年輪の数を数えるとその木の樹齢が判別できる。

(4) 図 E は木材の拡大図である。次の①～④の文章の中から図 D について説明しているものとして適切なものを下の①～④より選びなさい。

- ① (A) の部分は、空気の割合が高く密度が小さいため、色がうすく、幅が広い早材である。
- ② (B) の部分は、繊維が詰まっており密度が大きいため、色が濃く、幅がせまい晩材である。
- ③ (A) と (B) の空気の割合が高い木材は、密度が小さいため、軽いという特徴がある。
- ④ 世界中のどの木材でも、すべてに (A) と (B) があり、その種類は少し異なる場合がある。

3 作業工程について次の問いに答えなさい。

- (1) 工程ア～ウにあてはまることばを、右上の工程語群①～④より選びなさい。
- (2) 目的ア～ウにあてはまることばを、右上の目的語群①～④より選びなさい。
- (3) 図ア～ウにあてはまることばを、右上の図群①～④より選びなさい。

工程	目的	図
製作の準備	使用する材料や工具などを準備する。	×
↓		
けがき	目的 (ア)	図 (ア)
↓		
工程 (ア)	×	図 (イ)
↓		
工程 (イ)	目的 (イ)	×
↓		
工程 (ウ)	×	×
↓		
仕上げ	目的 (ウ)	図 (ウ)

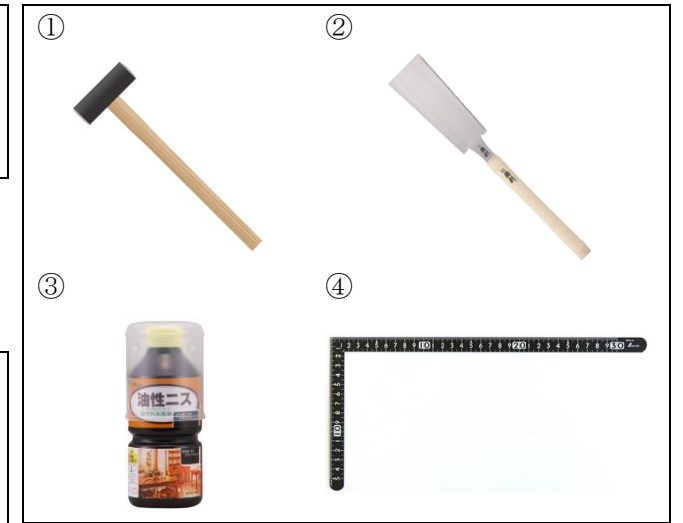
工程語群

- ① 組み立て
- ② 切断
- ③ 検査
- ④ 部品加工

目的語群

- ① 穴あけ、削りなどで部品をつくる。
- ② 作品を美しくする。
- ③ 部品同士を組み立てる。
- ④ 材料から部品を取り出すための線を引く。

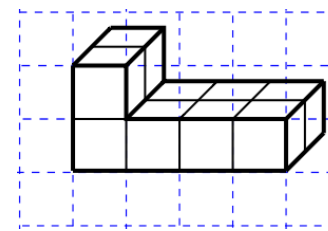
図群



4 製図について次の問いに答えなさい。(右下の製図の際の注意点を必ず見ること)

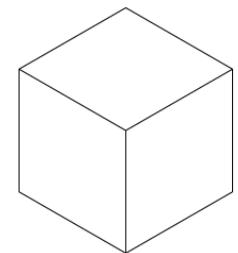
- (1) 図 A を等角図で表しなさい。
- (2) 図 B をキャビネット図で表しなさい。
- (3) 図 C をキャビネット図で表しなさい。

図 A



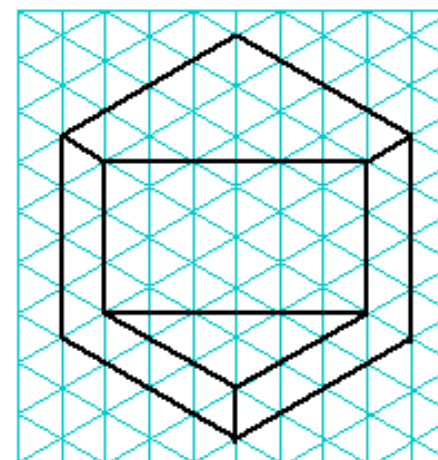
1 マスを 5mm とする。

図 B



1 つの辺の長さが 2cm の立方体

図 C



1 マスを 5mm とする。

製図の際の注意点

- 必ず定規を用いて作図すること。(定規を用いてない際は採点しない。)
- 図のマス目や影などは描き加えないこと。(特に図 A は注意する。)
- 線は濃くはっきり描くこと。
- 不要な線は必ず消しておく。

以上のことを踏まえて作図すること。
注意点を守らなければ減点する場合があります。

(以上)